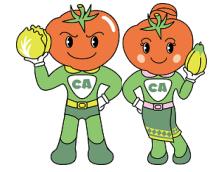




ラオス・クリーン農業開発プロジェクト

クリーン農業ニュースレター

第16号 2021年7月発行



このプロジェクトは5年間（2017-2022）の JICA による技術協力プロジェクトで、首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、サイヤブリー県及びシェンクワン県の4つのパイロット県を対象としています。プロジェクトは、パイロット県における市場ニーズに基づくクリーン農業（有機農業及び GAP）の推進を目的として活動しています。

最近のトピックス

1. 有機野菜生産計画にかかる研修の実施

6月24日（木）にビエンチャン農林局（PAFO）協力の下、首都ビエンチャンのOA（有機農業）グループ/農協を対象に雨季における有機野菜生産計画の研修を実施しました。研修テーマは、農家の収益性と市場ニーズに基づく有機野菜の生産計画で、参加者はグループワークの形式でニーズの高い野菜品目の収益性を算出したり、それらの生産計画をシミュレーションしました。また研修では、OAグループがそれぞれの販路や取引について質疑応答を行い、OAグループ間での情報交換や意見交換の場としてもよい機会となりました。



（写真）研修の様子（グループワーク）



（写真）研修の様子（参加者で記念撮影）

2. OA委員会/グループと流通業者の意見交換

7月1日（木）に有機農産物の生産・販売促進のため、OA委員会/グループと流通業者の意見交換ワークショップ（W/S）を実施しました。当W/Sでは流

通業者である Organic Home、Organic House の2社がプレゼンテーションを通して、生産計画のデータベース構築、OAマーケットでの有機野菜・果物ジュースの販売、公的な有機農産物認証（Lao Organic Certificate）の活用といった、関係者の連携を見据えたビジネスアイデアが共有されました。参加したOA委員会/グループやカウンターパートからは、各々の委員会や会議の場で検討したいというコメントもあり、プロジェクトとしてもフォローアップする予定です。両社のビジネスは、Organic HomeがウェブサイトやSNSを通じた個人消費者への有機野菜宅配サービス業、Organic Houseが主にOAマーケットで仕入れた有機野菜・果物をビエンチャン市内のスーパーマーケットへ卸す事業をそれぞれ行っており、流通業者は生産者と市場を繋ぐ重要な役割を担っています。



（写真）流通業者のプレゼンテーション

3. 病害対策：殺菌剤「酢酸水溶液」及び「酢酸カルシウム水溶液」の製造・使用について On the Job Training (OJT) を実施

6月22日（火）にカウンターパート機関である農業局クリーン農業基準センター（CASC）の圃場で、殺菌剤である「酢酸水溶液」及び「酢酸カルシウム水溶液」の製造・使用について On the Job Training (OJT) を実施しました。

ラオスでは毎年6月～10月頃まで本格的な雨季

を迎えることから、OA マーケットへの農作物の供給量が極端に落ち込みます。その要因の一つとされるのが、露地栽培下における病気の蔓延です。雨天や曇天時の高温多湿下では細菌やバクテリアが蔓延することから、斑点細菌病やベト病、灰色かび病、立ち枯れ病や根腐れ病といった発生へと繋がります。この「酢酸水溶液」を葉面散布することで急激な酸性化を伴う高い殺菌効果が期待でき、更に卵の殻（カルシウム）を添加した「酢酸カルシウム水溶液」を葉面散布することで、細胞壁の強化やカルシウム欠乏症の改善も同時に図ることが可能となります。



(写真) CASC 職員による「酢酸カルシウム水溶液」の製造の様子

(写真) ナスの幼苗への散布デモンストレーションの様子



4. ドンナソーク OA マーケットの移転

首都ビエンチャンのドンナソーク OA マーケットがトンカンカム市場に移転しました。トンカンカム市場は、首都ビエンチャンでも有数の規模を誇る生鮮食品市場として有名です。ニュースレター14号の報告にあるように、首都ビエンチャンの OA 農家は 2021 年 3 月 28 日より毎週日曜日にトンカンカム市場で有機野菜の販売を行っていました。当初予定していた 3 カ月のトライアル期間を終えて、7 月 1 日よりドンナソーク OA マーケットを閉鎖して、同マーケットで毎週日曜日と木曜日に販売を行うことになりました。58 のテーブルスペースを確保して販

売を行っています。

TV、ラジオ、Facebook、看板等を通じて移転についての通知を行いました。しかしながら、移動が決まったため、ドンナソーク OA マーケットの常連客の中には 7 月中旬の段階で、まだ移転したことを知らない人もいます。一方で多くの人々が利用しやすい立地状況にあるので、新たな顧客も増えています。今後多くの人々がトンカンカム市場の有機農産物販売を知ることによって、これまで以上に顧客が増えることを期待します。

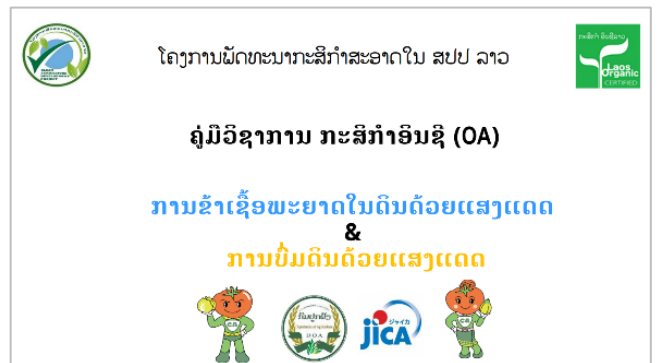


(写真) トンカンカム市場での販売の様子

5. 栽培技術マニュアルの紹介

これまでの冊子や本といった紙媒体による栽培技術マニュアルではなく、いつでもどこでも好きな時にスマートフォンから YouTube へとアクセスし、動画を通じて誰もが学べる栽培技術マニュアル「Organic Agriculture (OA) Technical Manual」の紹介です。CADP Project の Facebook や CASC の YouTube チャンネルなどでご覧になれます。

ラオスの現場に即した栽培技術を紹介していきますので、是非ご覧ください。



(写真) 栽培技術マニュアルのトップページ

